

第5回 議会報告会概要

平成26年4月開催
宮津市議会

第5回 議会報告会 総括 （平成26年4月開催）

1 班編成

班	構成議員	担当地区
1班	◎坂根 栄六、○北仲 篤、嶋田 茂雄 木内 利明、長林 三代、松浦登美義	中部、西部、日置、 府中、世屋
2班	◎松本 隆、○河原 末彦、橋本 俊次 松原 護、徳本 良孝	東部、栗田、吉津、 上宮津
3班	◎小林 宣明、○宇都宮和子、小田 彰彦 安達 稔、谷口 喜弘	城南、城東、由良、 養老、日ヶ谷

◎：班長 ○：副班長

2 議会報告会開催日時

日	時	場 所	担当	参加者数
4月22日(火)	19:30~21:30	世屋高原休憩所	1班	5人
4月23日(水)	19:00~21:00	上宮津地区公民館	2班	13人
4月26日(土)	19:30~21:30	栗田区民センター	2班	10人
4月28日(月)	19:00~21:00	養老地区公民館	3班	10人
4月30日(水)		魚屋会館	1班	18人
		由良の里センター	3班	12人
計		6会場		68人

3 各地区の議会報告概要、意見等に対する宮津市のコメント

第1班の報告…………… 1～ 5 ページ

第2班の報告…………… 6～10

第3班の報告……………11～14

意見等に対する宮津市のコメント……………15～16

議 会 報 告 会 の 概 要

開 催 日 時	平成 26 年 4 月 22 日 (火) 午後 7 時 30 分～ 9 時 00 分
開催地域・場所	世屋地区・世屋高原休憩所
担 当 班	第 1 班
出 席 議 員	坂根栄六・北仲 篤・松浦登美義・嶋田茂雄
司 会 者	坂根栄六
参 加 人 数	5 人
<p>【 報 告 内 容 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●総括・・・松浦 ●平成 26 年度当初予算・・・総務文教委員会所管分 (北仲) 産業建設福祉委員会所管分 (嶋田) ●平成 25 年度補正予算・・・総務文教委員会所管分 (坂根) 産業建設福祉委員会所管分 (松浦) ●条例制定・・・総務文教委員会所管分 (坂根) 産業建設福祉委員会所管分 (松浦) 	
<p>【主な要望・提言等】</p> <p><u>1. 有害鳥獣対策について</u></p> <p>Q. 今年有害鳥獣対策の檻は5月から開くのか？ 法面の崩壊が今年が多い。猪は 100kg 級がいる。重機で法面を直してからメッシュをして対応している。</p> <p>A. そのとおり。猟友会が実施し、その場で解体、焼却する。</p> <p><u>2. 農商工観連携について</u></p> <p>Q. 内容を詳しく。</p> <p>A. 大和学園にて食育の料理教室。農商工観連携は今までは役所中心。それではいけないので民間との協議会を立ち上げ、関係業者と具体的にやっていくために改善する体制づくりを今回している。後継者・担い手づくりもしていくことになっている。</p> <p>Q. 大和学園との連携に参加したが、その後商品がどうなっているのかわからない。事業が終わったら終わりになっており、商品化させるためにやっているのかわからない。どうなっているのか？ また、加工グループは販路が弱いのでその支援が必要。マッチングフェアは、食材探しであってお店で使うことになっていない。</p> <p>A. 担当室に伝える。</p> <p>Q. オリーブは雪で折れる。地元にあるものの活用か、柑橘類を高齢者が気軽に作れるものの方がいいのでは？</p> <p>A. 担当室に伝える。</p> <p><u>3. 前回の要望事項について (状況確認)</u></p>	

敷地の舗装は先に進まないのので、自主的に自治会でやっている。しおぎり荘の部分は地域力再生プロジェクトで自己負担を出して実施。災害時の避難通路として 200 m舗装。総事業費 300 万円。自治会で 50 万円を負担。陥没箇所は治してもらった。レクリエーションセンターを冬に雪まつりとかイベントで使いたいという話があったが、トイレの問題がある。施設の再開の京都府との相談ではNPO法人等の受け皿の問題がある。

4. 原子力避難について

- Q. 原子力災害時の避難名簿づくりを自治会に依頼された。自治会に入っていない人の把握が難しい。また、避難先の受け入れ場所について具体的に決まっていないうだが、どうなのか？
- A. 個人情報の問題もあり把握できないものもある。マニュアルはあるが、細部までできていない。

5. ペップキッズガーデンについて

- Q. 保健センターだと大きいエア遊具が使えない。年齢も限られている。人気のある大きい遊具が使えるようにできないか？
- A. 担当者に伝える。

6. バスについて

- Q. 雪でバスが上がってこられない。地元で重機の免許を持っている人がいるので、重機をリースしてもらえれば木子から除雪できバスが上がってきやすい。10月に説明会で言ったが、返事がない。
- A. 担当室に伝える。

7. げんきっこ広場について

- Q. いい先生でおもちゃが少し入ったが、げんきっこ広場の予算はいくらなのか？駐車スペースが少ないのが問題。
- A. 予算は 188 万 2 千円。駐車スペースについては海辺エリアも含めて考えないといけない。

8. 高齢者等見守りネットワークについて

- Q. 内容は？
- A. 郵便局などの業者が通常の業務の中で実施する協定。

宮津市議会報告会開催要領の規定により、議会報告会の概要を報告します。

平成 26 年 5 月 9 日

宮津市議会議長 小 田 彰 彦 様

第 1 班 班長 坂 根 栄 六

議 会 報 告 会 の 概 要

開 催 日 時	平成 26 年 4 月 30 日 (水) 午後 7 時 00 分～9 時 00 分
開催地域・場所	中部地区・魚屋会館
担 当 班	第 1 班
出 席 議 員	坂根栄六・北仲 篤・松浦登美義・木内利明・嶋田茂雄・長林三代
司 会 者	坂根栄六
参 加 人 数	18 人
<p>【 報 告 内 容 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●総括・・・松浦 ●平成 26 年度当初予算・・・総務文教委員会所管分 (北仲) 産業建設福祉委員会所管分 (嶋田) ●平成 25 年度補正予算・・・総務文教委員会所管分 (長林) 産業建設福祉委員会所管分 (松浦) ●条例制定・・・ 総務文教委員会所管分 (長林) 産業建設福祉委員会所管分 (松浦) 	
<p>【主な要望・提言等】</p> <p><u>1. 国民健康保険と社会保険</u></p> <p>Q. 同一世帯に国民健康保険加入者と社会保険加入者がいて、国保加入者が非課税の場合でも、世帯としては非課税扱いにならない。何らかの配慮が必要ではないか？</p> <p>A. 担当者に伝える。</p> <p><u>2. 地方税機構における個人情報の取り扱いについて</u></p> <p>Q. 債務者の情報が漏れていることはないのか？</p> <p>A. 担当者に伝える。</p> <p><u>3. 督促状等について</u></p> <p>Q. 市からの督促状を見てもその内容を理解できない高齢者も多い。払えるケースもあるので、地方税機構に回す前に会って説明する等の配慮をしてほしい。</p> <p>A. 担当者に伝える。</p> <p><u>4. 介護施設建設の見通しについて</u></p> <p>Q. 特別養護老人ホームの待機者があるということだが今後の見通しはどうか？将来使われない施設がたくさんできるのではないか？</p> <p>A. 要介護度が府の平均を上回り多くの待機者がある現状から由良の老人ホームが建設される。ただ、施設建設に伴い介護保険料が上がることも事実。年をとっても元気でいられる健康対策が根本的な解決策になる。3年ごとに福祉計画を見直しながら将来に備えていかななくてはならないと考える。</p>	

5. 市役所職員の負担について

Q. 連日夜遅くまで庁舎の灯りがついているのを見て職員さんも無理をされているのではと思う。病欠の方もあとと聞く。財政再建も大切だが行き過ぎた人件費削減により職員に過度な負担がかかっているか？

A. 平成18年から行財政改革2006により5年間で60億円の財源不足が見込まれたが、危機的状況は回避した。現在は、財政健全化計画2011により5年間で18億円の削減に取り組んでいるところ。H18年に約360名だった職員数は現在約240名であり、ITの導入や事務の効率化により職員減による負担がかからないよう配慮されている。市民ニーズに応える事業に取り組む必要もあることから、議会としては中長期の財政見通しを示すよう求めている。

6. 施設建設の考え方について

Q. 宮津会館などの公共施設の見直しについての説明があったが、マルシェ関連施設の建設についても、他の公共施設建設と一体化して考えるべきではないか？

A. 宮津会館で言えば、現在は冷暖房、消火設備、耐震構造等の問題があり改修費は約3億円必要。現在の使用状況と人口動態から考えてそれだけの補修費用をかけることが適当かどうかを議論する必要がある。他の施設も状況は同じであることから、その議論と判断の基礎となる調査をするための費用が公共施設マネジメントの予算として上がっている。

7. 国民年金の窓口相談について

Q. 宮津市の窓口で国民年金の相談に乗ってもらえない場合がある。舞鶴年金事務所に行ってくれと言われるが、交通手段のない方は市役所で対応してほしい。

A. 担当者に伝える。

8. 道の駅進捗状況について

Q. 道の駅はどこまで進んでいるのか？

A. マルシェ第1ステージの道の駅機能を持った部分は、昨年度入札不調により建設できずに繰り越され、改めて25年度補正予算に計上された。議会としては、第2ステージ部分との整合性を保つ必要があることから、商工会議所を中心として立ち上げられた協議会での審議内容を設計に反映した上で建設するようという意見を付けて予算を認めた。今年度中には完成する。

9. 公設市場について

Q. 公設市場はどうなるのか？

A. 公設市場も含めてマルシェ事業による賑わいづくりをどうするかを面で考える必要がある。議会としては、事業者や商業者の皆さんによる民間主導の議論の中で結論を出していただくことが重要と考える。

10. ミップル前交差点右折レーン設置について

Q. にぎわいづくりという意味では舞鶴方面から来た車が右折して進入できるようにすることも検討する必要があるのではないか。

A. 担当者に伝える。

11. 朝市について

Q. 朝市の今後の活用は？

A. 議会には、商業と観光の活性化のために活用したいと提案されているが、具体的な方策は確定していない。

宮津市議会報告会開催要領の規定により、議会報告会の概要を報告します。

平成 26 年 5 月 9 日

宮津市議会議長 小 田 彰 彦 様

第 1 班 班長 坂 根 栄 六

議 会 報 告 会 の 概 要

開 催 日 時	平成26年4月23日（水） 午後7時00分～8時45分
開催地域・場所	上宮津地区・上宮津地区公民館
担 当 班	第2班
出 席 議 員	松浦登美義・河原末彦・橋本俊次・徳本良孝・松原 護・松本 隆
司 会 者	松本 隆
参 加 人 数	13人
<p>【 報 告 内 容 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●主催挨拶 松浦登美義 ●平成26年度財政予算説明 徳本良孝 ●平成26年度一般会計当初予算・総務文教委員会付託部分説明 松本 隆 ●平成26年度一般会計補正予算・産業建設福祉委員会付託部分説明 橋本俊次 ●平成26年度特別会計及び平成25年度一般会計補正予算説明 河原末彦 ●平成25年度特別会計及び条例等説明 松原 護 <p>【主な要望・提言等】</p> <p>Q：耐震診断の関係で宮津会館が使用できず、6月1日の記念式典に間に合わない。 しかし、整備すると莫大なお金がかかり財政を圧迫し苦しくなる。優先順位をつけながら国の特別措置等の何か手立てはないか？</p> <p>A：人口が減少する中、あれほどの大きな建物が必要かどうか。設備の劣化等考えると建て替えることになる。平成30年を超えると財政状況も少し楽になるが、火葬場など施設の喫緊の課題があり、2万人を切った今、財政規模に見合う考え方をすべきである。その規模、整備手法等について、ゼロベースで市民の意見や利用者の声を聴取すべきと考える。</p> <p>Q：市はKTRに過大のお金を入れている。作った当時は大きな黒字が出るとのことで進められたがどうか？</p> <p>A：現在、毎年1億円近くを市として出費しているのが現状である。多くの人に利用していただき、できうる限り乗車の増加を図っていかなければならない。</p> <p>Q：LEDのリース契約請負業者は大阪の業者なのか。地元業者ではできないのか？</p> <p>A：入札によりリース契約を含む設備工事の請負業者はおっしゃるとおりであるが、10年間のリース期間中のメンテナンス等を考えると元請は限られる。設置工事は地元業者対応である。なお、LED化により電気料がこれまでの半分以下になっている。</p> <p>Q：一般会計から国保への法定外繰り入れは初めてのことか。他市ではどんどん行っているようだが？</p> <p>A：これまでから、健保との関係で不公平感があり市税の国保への繰り入れはいかななものかとの声がある。医療費の増大による赤字対策として、近年大幅な保険税の改定</p>	

をしたところであり、国保運営協議会の答申を踏まえ、初めての法定外繰り入れとなった。

Q：国保事業の基金は現在ないのか。国保税は高い。

A：京都府の基金から借りている。

Q：市の人口が2万人を切っている中で、議員を減らすか報酬を下げるか考えていただきたい。また、宮津市の人口を増やすことが先決である。

A：前回の市議選前に議会改革特別委員会を設置し、各種団体等と話し合いをもち、議員定数・報酬について議論を重ねた。その中で、若い方からは議員報酬を上げるべきとの声もあった。二元代表制という中で、チェック機能を果たすためにも議員定数を減らすのが良いのかという意見もある。現在も議会改革特別委員会で議論をしているところである。

人口減少については、現在、UIターン推進事業で、出て行った人も戻す取り組みとして、宮津に魅力を感じ帰ってきていただくよう補助制度を設けながら進めている。

Q：他市では人口が増えているところもある。そういう所を視察し、反映させていただきたい。

A：宮津市に夫婦で帰ってこられた方もかなりいらっしゃるが、それ以上に亡くなられる数のほうが多い。今の取り組みを粘り強く続けていけば、あまり悲観的に見なくてもよいと思う。人口が減っている中で、交流人口、観光入込人口を増やして外貨を稼ぎ、地域経済をいかに活性化するのか取り組みを進めているところである。

Q：若者を呼び込むためには、市外でも雇用があり通勤ができるので、補助を考えると、保育料を安くするなど生活しやすくなるよう進めていただきたい。

A：市外就労者が多くみられ、通行料の割引などが考えられる。

現在、民営化された保育所も増え、休日保育や延長保育等による子育て支援に努めている。

Q：4月1日から親子4人で転入してこられたが、市内に働き口がない。雇用について、UIターンの人を優先的に進めていただきたく要望する。

A：持ち帰り報告する。

Q：パーキングはままちに費やした市の持ち出しは？

A：約1億7,500万円になる。

Q：トータルで6億円になるのでは。しかし、だれも責任を取らないのか？

A：出資者の方も出資金を放棄している。

Q：パーキングはままち建設についての議員の責任は大きい。いきさつは市民に分から

ない。3点セットについても結果説明をしなければわからない。バザールなどは、一番華やかな時の開発であり、行政の見積もりは過大が多い。

A：阪急電鉄が3点の条件で計画したとき、駐車場が600台分不足するという結果から立体駐車場に対応するとのいきさつがあった。その当時の議員全員に一定の責任があるし、議会における議決の責任は議員全員にある。

Q：有害鳥獣対策では、これまで地元で埋葬をしていたのが猟友会でやっていただけなので有難い。また、動物の絶対数が増えている。積極的な駆除をやっていただきたい。

A：現在、夜間等も狩猟ができるようになっている。猟友会の方自体が足りないので、京都府と協力しあい進めていく必要がある。シカの捕獲では、4頭目から10頭目までの捕獲獣が対象で、報奨金が6,500円になる。

Q：有害鳥獣の焼却場はどうか？

A：新たなごみ処理施設に設置を検討されるよう経過意見を付けている。

宮津市議会報告会開催要領の規定により、議会報告会の概要を報告します。

平成26年5月9日

宮津市議会議長 小田彰彦様

第2班 班長 松本 隆

議 会 報 告 会 の 概 要

開 催 日 時	平成26年4月26日(土) 午後7時30分～9時00分
開催地域・場所	栗田地区・栗田区民センター
担 当 班	第2班
出 席 議 員	小田彰彦・河原末彦・徳本良孝・橋本俊次・松原護・松本隆
司 会 者	松本隆
参 加 人 数	10人

【 報 告 内 容 】

●主催挨拶	小田彰彦
●平成26年度財政予算の説明	徳本良孝
●平成26年度一般会計当初予算等・総務文教委員会付託部分説明	松本 隆
●平成26年度一般会計当初予算等・産業建設福祉委員会付託部分説明	橋本俊次
●平成26年度特別会計及び平成25年度一般会計補正予算説明	河原末彦
●平成25年度特別会計及び条例等説明	松原 護

【主な要望・提言等】

Q：有害鳥獣対策で、鳥獣処分を猟友会が行うことで、農家の負担軽減になるところもある。しかし、猟友会のメンバーも農家であるので負担増になる。これまでなら約15分で作業が終わるところ、解体して焼却場まで運搬するとなおさらである。現場の内容をよく把握してもらいたい。市は猟友会に丸投げをしている。

A：持ち帰り市に伝える。

Q：200円バスの運行では、上宮津～水戸谷線が廃止され、岩滝で乗り換え水戸谷でも乗り換えなくてはならなくなっているがなぜか？

A：バスの運行についても利用者の意見を聴取し、持ち帰り検討させる。

Q：東部不燃物処理場の受け入れ期限が終わっているのに今も動いているが、なぜ看板を変えないのか？

A：当初、地元の皆様とお約束をした処理期間が経過した後も処理場に空きスペースがあるため、受け入れ期間の延長をお願いし10年程度の延長について話し合いができたようである。

Q：KTRの利用について、もっと市職員等も積極的に利用するよう進めていただきたい。京丹後ではもっと列車の便数を増やしてほしいと言っているが？

A：KTRの利用促進については、鋭意行っているが、意見を担当室に伝え、さらに検討を加えるようにしたい。

Q：田井線の運行についても人が乗っていない。もっと効率的にしてはどうか？

A：持ち帰り報告する。

Q：議会だよりの報告資料が分かりにくい。とくにカタカナのマルシェやリプレイスなど説明を聞いてもわからない。もっと子どもから大人までどなたが読んでもわかりやすくしてほしい。

内容も、宮津再生とか何を再生するのかよくわからない。文章が抽象的で上滑り、もっとわかりやすい文章にしてほしい。

A：議会だよりは、議会と市民をつなぐものとして議会情報化等特別委員会で、議員が作成している。よりわかりやすい編集に心掛けているが、行政からの資料を参考にしていることもあり、ご指摘の表現となっている。ご指摘の点も踏まえ、よりわかりやすい編集ができるよう、委員会で検討を加えたい。

宮津市議会報告会開催要領の規定により、議会報告会の概要を報告します。

平成26年5月9日

宮津市議会議長 小田 彰彦 様

第2班 班長 松本 隆

- ・ 養老自治連に事務所がない。養老地区公民館はデイサービスセンターに間借りしているだけだ。事務所が欲しい。
- ・ 自治会の事務を簡素化して欲しい。市への提出書類が多すぎる。
- ・ 市のホームページに予算決算の貸借対照表を掲載願いたい。

宮津市議会報告会開催要領の規定により、議会報告会の概要を報告します。

平成 26 年 5 月 9 日

宮津市議会議長 小 田 彰 彦 様

第 3 班 班長 小 林 宣 明

議 会 報 告 会 の 概 要

開 催 日 時	平成 26 年 4 月 30 日 (水) 午後 7 時 00 分～9 時 00 分
開催地域・場所	由良地区・由良の里センター
担 当 班	第 3 班
出 席 議 員	小田、安達、谷口、宇都宮、小林
司 会 者	小林
参 加 人 数	1 2 人
<p>【 報 告 内 容 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総括…小田 ・ 平成 26 年度当初予算…総務文教委員会所管分：小林 産業建設福祉委員会所管分：安達、谷口(特別会計) ・ 平成 25 年度 3 月補正予算…総務文教委員会所管分：小林 産業建設福祉委員会所管分：宇都宮、谷口(特別会計) ・ 条例制定…総務文教委員会所管分：小田 産業建設福祉委員会所管分：安達 	
<p>【主な要望・提言等】</p> <p>Q マルシェの計画にミップルは反対していると聞くが共合すべきだ。</p> <p>A 地元や周辺地区の意見を取り入れて整理することで予算を認めたので、当然それも含まれると考えている。</p> <p>Q 公設市場においては、商品の値段表示がない。</p> <p>A 調べ確認する。</p> <p>Q 財政健全化計画の 2006、2011 は達成できたのか。</p> <p>A 2006 は達成できた。2011 は現在進んでいる。宮津市の財政は今後においても大変厳しい状況。</p> <p>Q 空き家の対処に困っている。行政で対応ができないのか。</p> <p>A 国において現在検討がされていると聞いている。それを受けて市も条例等のできることを考える段階にあると思っている。</p> <p>Q 宮津会館の空調設備が壊れていて使えないがどうするのか。</p> <p>A 宮津会館は、耐震化が出来ていない施設なのでその対応も必要。現在財源を探っている。空調設備の件は確認する。</p> <p>Q 駐車場パーキングはままちの破産に対する責任は。</p>	

A 議会が出資を認めたが50%以下は議会への報告がいらぬシステムとなっている。結果として詳細なチェックが入らぬ。今後はこのような組織（第3セクター）を作らぬということだ。

Q マルシェの目的は何か。宮津に客を呼べるのか。

A 目的は、宮津の産品を売ることにあるという考え。手法については、現在商工会議所を中心とした機関で検討を行っている。

[意見]

- ・ この村がどうしたら良くなるのかと考えている。行政の見方を考えて欲しい。
- ・ 議会は、チェック機能が働いていない。また監査には外部監査を入れるべきだ。
- ・ 由良地区の排水計画測量は終わったのに計画ができていない。由良川の改修ができるまでに早く地区内の排水整備を実施して欲しい。
- ・ なぜ由良地区は下水計画がないのか。山林まで都市計画税がかかっているのに、市域において、不公平でないのか。税の平等化を言っているのに。

宮津市議会報告会開催要領の規定により、議会報告会の概要を報告します。

平成26年5月9日

宮津市議会議長 小田彰彦様

第3班 班長 小林宣明

※本来であれば、予算決算は議会が説明するものでなく、市長が説明するものだと思います。

世屋地区 (H26.4.22)	
意見等の概要	<p>大和学園との連携に参加したが、その後商品がどうなっているのか分からない。事業が終わったら終わりになっており、商品化させるためにやっているのかわからない。どうなっているのか？また、加工グループは販路が弱いのでその支援が必要。マッチングフェアは食材探しであってお店で使うことになっていない。</p>
市のコメント (産業振興室)	<p>学校法人大和学園との連携協定に基づく料理メニュー・特産品開発アドバイザー事業は、料理メニューや加工品の開発・改良に意欲のある事業者等が大和学園の専門家から指導、アドバイスを受けていただくもので、平成25年度から実施しておりますが、商品化していくかどうかは、あくまでも事業者の判断と考えています。</p> <p>また、加工グループの販路につきましては、本年3月に Made in 宮津の商品づくりや販路拡大を目的に立ち上げた農水商工観連携会議において、意欲ある事業者等と相談協議する中で、販路先の開拓についても、一緒に取り組むなど、一定の支援をしていくこととしました。</p> <p>なお、マッチングフェアでは、加工食品の商談も成立しているとお聞きしており、販路開拓支援として、今後も開催していくこととしています。</p>
意見等の概要	<p>雪でバスが上がってこられない。地元で重機の免許を持っている人がいるので、重機をリースしてもらえれば木子から除雪できバスが上がってきやすい。10月に説明会で言ったが、返事がない。</p>
市のコメント (建設室)	<p>本市では、除雪路線としている道路以外のもの（幅員が狭く除雪車が入れない道路や歩道）の除雪については、自治会等に対し小型除雪機を貸与させていただくなど、地域での対応をお願いしています。</p> <p>お尋ねの件につきましては、京都府の所管であることから、京都府に対し、地域の要望としてお伝えします。</p>
栗田地区 (H26.4.26)	
意見等の概要	<p>200円バスの運行では、上宮津～水戸谷線が廃止され、岩滝で乗り換え、水戸谷でも乗り換えなければならなくなっているがなぜか？</p>
市のコメント (企画総務室)	<p>従前の峰山線（峰山駅～上宮津）は、KTRとの並走路線であり、乗降調査においても、水戸谷を越えて峰山方面へのご利用は、ごくわずかでありました。</p> <p>このため、上限200円バスの導入に際して、最小限の経費の中で効率的な公共交通網の構築を図るため、峰山線の一部を廃止したものです。</p> <p>上宮津～峰山間は、乗換えが必要となりましたが、上限200円バスの導入により、600円（従前は、710円）で利用可能となっておりますので、ご理解をお願いします。</p>

由良地区（H26.4.30）	
意見等の概要	宮津会館の空調設備が壊れていて使えないがどうするのか。
市のコメント (財 務 室)	<p>宮津会館は、昨年度の耐震診断において、天井部分の耐震度が低く、舞台装置も含め崩落の危険性があるとの報告を受けました。また、この診断調査中（平成25年末）に、空調設備が故障し、併せて消火設備も水漏れが判明するなど、設備の機能も大きく低下しているという指摘を受け、利用者数も大きく減少していることなどから、まずは休館としていくことが適当であると判断しました。</p> <p>しかしながら、これを休館とした場合は、宮津会館のほかに適当な施設がないとのご意見もあり、「宮津市公共施設再生計画」においてその方向性が固まるまでの間、耐震性に不安を抱える中ではありますが、空調設備及び消火設備を改修(済)し、宮津会館の使用を引き続き許可していくこととしました。</p> <p>なお、使用を許可する際には、避難誘導など安全の確保を利用団体にも求めていくこととしています。</p>